

有限会社エヌ・イー・ワークス （製造業）

《既存の事業領域に捉われない柔軟な発想で「お花ビジネス」を展開、収益と雇用の両者を確保》

◆ダイバーシティ経営の背景

- ・ 2002 年 10 月に、大手電機メーカー系列の部品製造会社を前身として「エヌ・イー・ワークス社」を設立、地域の雇用創出や従業員の自己実現とビジネスとの両立を図るべく、既成概念や事業実績等に縛られない柔軟な事業展開を行っている。
- ・ 定年延長を検討する上で、高齢による視力低下での電子部品検査には難が多いことから新規事業を模索し、2007 年に食品事業へ参入した。現在は、電子部品製造事業に加え、菓子製造販売、食用花栽培出荷事業を実施、それまでの電子部品製造で微細加工能力を有する女性や高齢社員に菓子製造での押し花デザインや栽培等を任せるなどして、「お花ビジネス」を拡大している。

◆取組内容

- ・ 会社定款の事業目的には社員の「今後実現したいこと」を列挙し、そこからアイディアを得ることで社員のスキル・能力等を活かした新規事業・サービスを次々に生み出している。
- ・ 商品開発のアイディアは、生産・加工に携わる社員等から積極的に提案を受けている。菓子製造販売を開始した当初は押し花のせんべいのみであったが、女性社員からの「地元の名産品である“花びらもち”に本物の花びらを付けたらどうか」という提案を受け入れ、押し花をあしらった餅やタルトなど商品開発を積極的に実施し、次々に商品展開を行っている。
- ・ 女性ならではのセンスや電子部品で培われた繊細な技により生み出された食用押し花の繊細さ、彩りの良さが評判を呼び、2012 年には押し花単独での出荷を開始、地域の育児中の女性や高齢者（20-70 代）に在宅で委託生産する設備等を整備し、通年での量産体制を確立した。

◆成果

- ・ 電子部品製造と食品製造という全く異なる分野であるが、繊細な加工技術や品質管理のノウハウや、クリーンルーム等の設備転用により、従来の事業で培ったスキルやノウハウを新規事業にも活かし、事業拡大につなげた。
- ・ 「お花ビジネス」として押し花単独での生産・出荷を始めてからも、女性社員の感性を活かしてポディアートやフラワーシャワー、アロマキャンドルといった食用以外への活用も提案。従来の食用生花と比較し保存性や輸送コストの面での優位性を持つ高付加価値商品として売り出し、国内外の高級ホテルやレストラン等から注目を集め、フランスやインドネシアへの輸出も果たしている。

＜企業概要＞

設立年	2002 年	資本金	29 百万円
本社所在地	島根県仁多郡奥出雲町三成 661-7		
事業概要	電子部品の組立検査業務、菓子製造販売、食用花栽培出荷		
売上高(※)	150 百万円 (※)直近決算期(2012 年 7 月)		

＜従業員の状況＞（単体）

総従業員数	34 人(うち非正規 0 人)
属性ごとの人数等	【女性】25 人(うち非正規 0 人) 【65 歳以上】0 人
正規従業員の平均勤続年数	非公表